

# 加太小学校だより



2022年  
12月12日  
No.16



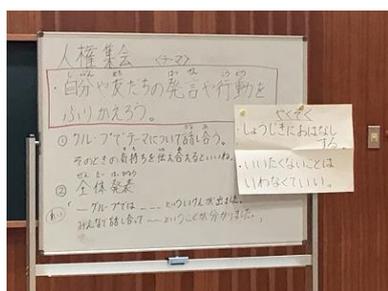
<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabut>

12月になり、寒さが厳しくなってきました。子どもたちは、授業中、学習のまとめをしっかりとし、休み時間には、なわとびや読書をするなど、けじめをつけて学校生活を送っています。2学期末まで2週間。体調管理には十分気を付けていきたいと思います。

## 全校で人権集会を行いました



先日、全校で「自分や友だちの発言や行動について、正直な気持ちを伝え合う」ことをめあてに人権集会を行いました。自分や友だちの言動を振り返り、その時の気持ちを伝え合いました。そして、今後自分はどのようにしていきたいかについてそれぞれのグループに分かれ、意見を出し合いながら考えました。これらの学習をもとに、子どもたちが自他のよさを認め合える人間関係を相互に形成していけるように指導と支援をしていきます。



### <児童のふりかえりより ～一部抜粋～>

- ・みんながいい気持ちでいられる加太小学校にしたいです。強い言葉で言わないようにしたいです。
- ・みんないろんな気持ちがあるのがわかりました。ちゃんと考えたいです。
- ・ほとんどの人が自分がしたことをふりかえて後悔したということがわかった。兄弟だと後悔せずに何も思わないけど、友だちの場合はまた違うと感じた。
- ・きつい言葉を言われたら自分もつい言い返してしまっただけど、相手の気持ちを考えたら、いやな気持ちになるからきつい言葉で言い返さない方がいいことがわかった。
- ・調子にのっているときに、いじったり言葉遣いがきつくなったりするので、そういうことをしないようにして、注意できる立場になりたい。
- ・言いたいことを言うのではなく、何かを言う時は、相手の気持ちを考えて言いたいです。
- ・きつい言葉を直したいと思う人もいれば、直すのは無理だという人もいた。でも、私は、自分の気持ちを素直に伝えて、お互いの気持ちを理解し合うことが大切だと思った。
- ・相手の気持ちを考えず、自分が思ったことをすぐに口に出してしまうことがあり、後で後悔してしまうことがある。だから、相手の気持ちを理解し、この言葉を言ったら、相手はどんな気持ちになるのかを考えてから言うようにしたい。
- ・相手の気持ちを理解すること、自分の気持ちも理解してもらうことが大切だということがわかった。成長したいと思った。
- ・ふざけて傷つける言葉を言うてしまうことがあるから、今日の人権集会をきっかけに言わないように気を付けたい。あと、そのようなことを言っている人がいたら、注意をしたい。

## 関中学校区人権フォーラムが開催されました



12月6日に、関中・関小・加太小の児童生徒が関小の体育館に集まり、関中学校区人権フォーラムが行われました。

学校は、いわば小さな社会であるとともに、学校を卒業して出ていく一般社会への練習の場でもあります。今の社会は、「変化」と「多様性」と言われます。年齢、性別、様々な価値観や文化の異なる多様な人々と理解し合い、協力して生きていくことが大切になってきます。

今年度の人権フォーラムでは、三重県 SS ピンポン協会の方の話の聞いたり、視覚障がいのある方と一緒に SS ピンポン体験をしたりしました。そして、グループで「お話を聞いたことや体験したことの感想」「誰もがぐらしやすい社会をつくるために、自分ができること」について話し合いました。



<児童のふりかえりより ～一部抜粋～>

- ・目が見えなくなっても自由に生きようと楽しんでいると知り、感心した。
- ・自分の周りに障がいがある人がいたら、助けがいるか確認して、助けようと更に思った。そして、周りの人が障がいのある人たちを支えていくことが大切だと思った。障がいのある人、ない人関係なく、困っている人がいたら、助けないといけないと思った。
- ・SS ピンポンみたいに障がいを持っている人、持っていない人どちらも楽しめる遊びをどんどん作って、広めて、世界中に広がってほしい。
- ・障がい者と自分たちの間に壁を作らずに、みんなが接することが大切だということがわかった。困っている人がいたら、声をかけ、助けたい。助けなくても自分でできるという人もいると思うから、困っているかを聞いてから行動するようにしたい。

## 12月の学校風景



### ～もちつき体験～

5・6年生が中心となって自分たちで田植え、稲刈りをし、収穫したもち米を使ってもちつきをしました。地域指導者の方の安全指導のもと、活動時間を分けてもちつき体験をしました。つきたての餅をきな粉・あん・醤油のりで味付けし、おいしくいただきました。



### ～業前なわとび活動が始まりました～

業前なわとび活動では、たてわり班を使った異学年集団で教え合い、助け合い、学び合いを行います。第1回目。高学年児童と低学年児童がペアになり、お互いに跳んだ数を数え、励まし合いながらがんばって短なわを跳んでいました。今後も自分の目標に向かって取り組んでいってほしいと思います。

